

ダイズ紫斑病に効果のある新規薬剤の使用法（追補）

【1 新規薬剤2剤の使用法】

- (1) ジフェノコナゾール乳剤（商品名：プランダム乳剤25）、ピリベンカルブ水和剤（商品名：ファンタジスタフロアブル）はダイズ紫斑病防除効果が高く、1回散布で十分な効果が得られます（図1）。
- (2) これまでに評価した薬剤を含めた、ダイズ紫斑病に対する各種薬剤による防除体系は表1の通りです。

表1 ダイズ紫斑病防除薬剤の防除効果と薬剤防除体系（水和剤、乳剤、フロアブル剤）

種類名 (商品名)	系統名	希釈倍 数 ・使用量	紫斑病に 対する 防除効果	薬剤防除体系
アゾキシストロビン水和剤 (アミスター20フロアブル)	QoI 殺菌剤	2,000～ 3,000 倍	◎	1回散布で十分な 防除効果が期待で きる。
ピリベンカルブ水和剤 (ファンタジスタフロアブル)	QoI 殺菌剤	1,000 倍	◎	
ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤 (ニマイバー水和剤)	N-フェニルカ ーバメート+ MBC 殺菌剤	1,000 倍	◎	
ジフェノコナゾール乳剤 (プランダム乳剤25)	DMI 殺菌剤	3,000～ 5,000 倍	◎	他剤との組み合わせ による2回散布が 望ましい。 1回目散布と2回 目散布の散布間隔 は10日程度とす る。
ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN 水和剤 (プロポーズ顆粒水和剤)	CAA 殺菌剤 +クロロニト リル	1,000 倍	○	
イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤 (ベルコート水和剤、ベルコートフロアブル)	ビスグアニジ ン	1,000 倍	○	
マンゼブ水和剤 (ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤)	ジチオ カーバメート	400 倍	○	
銅水和剤 (Zボルドー)	無機化合物	500 倍	○	

【2 留意事項】

- (1) ダイズ紫斑病に対する防除適期は概ね開花20～40日後（若莢期～子実肥大期）です。1回散布の場合は開花25～35日後に散布してください。
- (2) 耐性菌の発生を回避するため、QoI殺菌剤（アゾキシストロビン水和剤、ピリベンカルブ水和剤）は2～3年に1回の使用としてください。